

大村益三とその残欠 – 「ネコになる」という選択肢– 出品リスト

会場：新潟市美術館 常設展示室内 会期：2024年4月26日（金）～6月30日（日）

no.	種別	作者	タイトル・内容	制作年	初出	素材・技法	寸法（cm）	所蔵
01	写真	撮影：東間 嶺	アトリエ・トリゴヤ被災状況	2023年12月29日	noteアカウント「ナミイタ Nami Ita」			
02	テキスト	大村 益三	「喪失」	2024年2月2日	はてなブログ『〈B 術の生態系〉 B 人のB 術』			
03	焼損作品	大村 益三	Daedulus (TOYOTA)	1993	大村益三個展（銀座・コバヤシ画廊、1993年）	プラスチック、アクリリック・ペイント（火災現場より回収）	縦22.0×横20.0×奥行4.5cm	作家
04	焼損作品	大村 益三	Eotriceratops (CASIO)	1993	大村益三個展（銀座・コバヤシ画廊、1993年）	プリンター付き電卓、アクリリック・ペイント（火災現場より回収）	縦22.0×横18.0×奥行4.5cm	作家
05	焼損作品	大村 益三	Diplodocus (Philips)	1993	大村益三個展（銀座・コバヤシ画廊、1993年）	携帯カセットプレーヤー、アクリリック・ペイント（火災現場より回収）	縦20.0×横12.0×奥行4.0cm	作家
06	焼損作品	大村 益三	P-T extinction (Seagate)	2021	大村益三個展（町田・ナミイタ）	HDD、アクリリック・ペイント（火災現場より回収）		東間 嶺
07	焼損作品	大村 益三	Mesa Verde (GAFA)	2021	大村益三個展（町田・ナミイタ）	Kindle Fire、Xperia、アクリリック・ペイント（火災現場より回収）		東間 嶺
08	焼失作品 (スライドショー)	大村益三	Marriage (KOKUYO)	1984	大村益三個展「Marriage」 銀座・ルナミ画廊、1984年	折り畳み椅子、木、アルミ、クランプ、紙、アクリリック・ペイント		作家（全損）
			Hipparion (HONDA)	1985	大村益三個展（銀座・コバヤシ画廊、1985年）	オートバイ、鉄、木、アクリリック・ペイント		作家（全損）
			Triceratops	1985	大村益三個展（銀座・コバヤシ画廊、1985年）	カメラ、木、紙、アルミ、アクリリック・ペイント		作家（焼失）
			蒐集された噂たち (WALKMAN)	1986	大村益三個展「蒐集された噂たち」 （六本木・スペース遊、1986年）	ポリスチレン・フォーム、アクリリック・ペイント		作家（焼失）
			弾みの桁数 (BMW 635CSi)	1986	グループ展 「LUNAMI SELECTION'86」 （銀座・ルナミ画廊、1986年）	ポリスチレン・フォーム、アクリリック・ペイント		作家（焼失）
			Chalicotheres (MAZDA)	1987	大村益三個展（銀座・コバヤシ画廊、1987年）	鉄、木、ゴム、プラスチック、アクリリック・ペイント		作家（焼失）
			電子泉の森 (Intel)	1990	大村益三個展（銀座・コバヤシ画廊、1990年）	木、ポリエステル樹脂、鉄、アクリリック・ペイント		作家（焼失）
			Orohippus (HONDA)	1990	グループ展「宮前正樹との二人展」 （近鉄・阿倍野店美術画廊、1990年）	オートバイ、鉄、アクリリック・ペイント		作家（全損）
			Aetonyx (NTT)	1993	大村益三個展（銀座・コバヤシ画廊、1993年）	電話機、アクリリック・ペイント		作家（焼失）
09	焼失作品 (スライドショー)	大村 益三	Peeping Dinosaur 1	2002	大村益三個展（国立、FADs art space、2002年）	ミクストメディア		作家（焼失）
			Peeping Dinosaur 3	2008	グループ展「アンデボンタン Art Week in Wako'08」町田・和光大学キャンパス	ミクストメディア		作家（焼失）
			Peeping Dinosaur 4	2009	グループ展「DARK SEED 04」銀座・exhibit LIVE & Moris、2009年	ミクストメディア		作家（焼失）
			Peeping Dinosaur 5	2009	グループ展「Radical Crops」銀座・exhibit LIVE & Moris、2009年	ミクストメディア		作家（焼失）
10	テキスト	大村 益三	「Peeping Dinosor について」	2024年4月	本展のための書き下ろし			
11	動画	聞き手：富井大裕、伊藤誠 撮影／編集：門田訓和	武蔵野美術大学 彫刻学科研究室 開講授業「表現演習」動画 「スタジオ訪問」第6回 吉川陽一郎	2020	YouTubeチャンネル 「武蔵野美術大学 彫刻学科」		約8分40秒（冒頭部分）	
12	現存作品	大村 益三	Echinodon (NTT)	1993	大村益三個展（銀座・コバヤシ画廊、1993年）	電話機、アクリリック・ペイント	縦44.9×横33.9×奥行7.0 cm	とんかつ文庫
13	現存作品	大村 益三	Alberti's circular window (Vermeer)	2017	グループ展「Messege2017」 （銀座・コバヤシ画廊）	本	縦19.8×横13.0×奥行0.8	作家
14	現存作品	大村 益三	Alberti's circular window (Velázquez)	2017	グループ展「Messege2017」 （銀座・コバヤシ画廊）	本	縦19.8×横13.0×奥行0.8	作家
15	現存作品	大村 益三	The window of Bunneiby (Apple)	2020	グループ展「MESSSAGE 2020」 銀座・コバヤシ画廊、2020年	キャンバス、iPhone4、アクリリック・ペイント	縦27.3×横22.0×奥行4.5cm	作家
16	現存作品	大村 益三	Göbekli Tepe (Apple)	2021	グループ展「MESSSAGE 2021」 銀座・コバヤシ画廊、2021年	iPhone4、iPad1、アクリリック・ペイント、 アクリル・エマルジョン、シリカ	縦25.2×横19.4×奥行3.0cm	作家
17	現存作品	大村 益三	The Dazzling Aten (Apple)	2022	グループ展「MESSSAGE 2022」 銀座・コバヤシ画廊、2022年	iPhone3G、iPad1、アクリリック・ペイント、 アクリル・エマルジョン、シリカ	縦23.7×横18.5×奥行4.2cm	作家
18	現存作品	大村 益三	Repairing a destroyed chair (by Pan-Arab colors & keffiyeh)	2023	グループ展「MESSSAGE 2023」 銀座・コバヤシ画廊、2023年	ドールハウス・チェア、木、紙、 アクリリック・ペイント	縦14.0×横6.0×奥行7.0cm	作家
19	現存作品	大村 益三	いつものこと	2009	グループ展「DARK SEED 04」 銀座・exhibit LIVE & Moris、2009年	木、園芸土、種子、紙、酢酸ビニル樹脂	縦5.6×横5.6×奥行5.6 cm	とんかつ文庫
20	写真	撮影：東間 嶺	ありし日のアトリエ・トリゴヤ					
21	スライドショー	撮影：大村益三	小太郎	1995～2000	アトリエ・トリゴヤに居着いた野良猫、 トリゴヤ内のサロンに展示されていた写真			作家

展示資料 大村益三 掲載誌 焼失を免れたものの一部

no.	掲載内容・執筆者等	タイトル等	刊行年	出版社等（特記ないものは作家蔵）
m01	評者：峯村敏明	『美術手帖』第475号、特集「80年代美術 動き出すニュー・ウェイヴ」	1981年1月	美術出版社
m02	写真：安斎重男	『流行通信』第230号	1983年3月	流行通信社
m03	表紙作品／評者：北澤憲昭	『Beruf』第3巻第3号	1984年2月16日	日本リクルートセンター
m04	座談会、コメント等	藤井雅実編『現代美術の最前線』	1984年3月	画廊バレルゴンII（とんかつ文庫蔵） PDF：現場研究会WEBサイト 「Web Complex」中「Archive」ページ
m05	アトリエ・トリゴヤ紹介記事	『美術手帖』第524号、特集「アトリエ考」	1984年4月	美術出版社（当館蔵）
m06	評者：近藤幸夫（個展評）	『美術手帖』第525号、「ロサンゼルス・アート・ガイド」	1984年5月	美術出版社
m07	評者：北澤憲昭（個展評）	『アトリエ』第687号	1984年5月	アトリエ出版社
m08	評者：Rodney O'Brien	『TOKYO JOURNAL』	1986年8月	Cross Cultural Enterprises, Tokyo
m09	評者：藤井雅実	『GS [たのしい知識]』第4号、特集「戦争機械」	1986年12月	ユー・ビー・ユー
m10	評者：Rodney O'Brien	『PHP INTERSECT』第3巻第1号	1987年1月	PHP研究所
m11		『WACOA』第9号、特集「コマーシャル・インテリア活況の行方II」	1987年12月	壁装材料協会
m12		『アトリエ』第736号	1988年6月	アトリエ出版社
m13		『WAVE』第22号、特集「アート新世紀」	1989年4月	WAVE+ベヨトル工房
m14		『美術手帖』第611号、特集「1999年のためのアート」	1989年7月	美術出版社
m15	評者：John Vetebey	ACTUEL, no.123	1989年9月	Nova Press, Paris
m16		『アトリエ』第756号	1990年2月	アトリエ出版社
m17	評者：相原由美	『03』第2巻第4号、特集「ベルリン疾風怒濤」	1990年4月	新潮社
m18	評者：若林直樹	『田中康夫のトレンドペーパー』第14号	1991年5月	中博事務所
m19	インタビュー	『アクリラート』第17号	1992年1月	ホルベイン工業 PDF：同社サイト「資料室」
m20		『WAVE』第33号、特集「アーティスト・ファイル」	1992年5月	WAVE+ベヨトル工房
m21	評者：上野俊哉	『imago』第1巻第9号、特集「デザインの心理学」	1992年5月	青土社
m22	表紙作品	上野俊哉『思考するヴィークル クルマ/速度/都市』	1992年8月	洋泉社
m23		『BRUTUS』第13巻第21号、特集「ブルータス座へようこそ」	1992年11月15日	マガジンハウス
m24	アンケート回答	『季刊レポート』第23号、特集「日経イメージ気象観測」	1993年1月	日本経済新聞社
m25	表紙作品／論考3篇寄稿	藤井雅実+澤野雅樹編『人はなぜゲームするのか 脳空間のフィロソフィア』	1993年3月	洋泉社
m26	評者：はやしとしお	『Mac Fan』第1巻第2号	1993年6月	毎日コミュニケーションズ
m27		『財界』第41巻第17号	1993年7月6日	財界研究所
m28	評者：倉林靖	『現代日本アーティスト名鑑』	1995年4月	美術出版社、 『美術手帖』第682号（1994年1月）特集の単行本化
m29		『クリエイターズ・カフェ・ファイル'97 ジャパン・アート・エディション』	1997年8月	ビー・エヌ・エヌ
m30	評者：近藤幸夫	カタログ『第33回今日の作家展 都市の情景：複数性のなかの単一性』	1997年11月	横浜市民ギャラリー
m31		カタログ『アンデポンタン』展	2009年1月	アンデポンタン実行委員会（和光大学） 開催は2008年9月
m32	評者：榎木野衣	『美術手帖』第1076号、特集「80年代・日本のアート」	2019年6月	美術出版社（当館蔵）
m33	たま	CDアルバム『ひるね』	1991年	アクシック（日本クラウン）AXCR-2 （とんかつ文庫蔵、再発盤CRC1651）

コレクション展 ニャン -ネコ用品専門展- 出品リスト

会場：新潟市美術館 常設展示室 会期：2024年4月26日（金）～6月30日（日）

no.	作者	生没年	タイトル	制作年	寸法(cm)	材質	受入
1	アルベルト・ジャコメッティ	1901-1966	みつめる頭部	1928頃	39.5×37.0×6.5	石膏	平成11年度 購入
ネコじゃらし gazing							
2	アレクサンダー・カルダー	1898-1976	赤、空中のデイズ	1954	高さ144.8×幅139.7	金属板に彩色（モビール）	平成7年度 購入
3	増井 和弘	1929-2009	AKEBONO（あけぼの）89-III	1989	130.3×162.1	アクリル、カンバス	平成2年度 寄贈
4	ブリジット・ライリー	1931-	ただよい 1	1966	177.8×174.6	感光乳剤、カンバス	平成7年度 購入
5	山田 正亮	1929-2010	Work C-138	1963	162.0×130.0	油彩、カンバス	平成4年度 購入
6	立花 みどり	1912-2002	プレリュード No.2	1982	112.0×162.0	アルミニウム、板	昭和60年度 寄贈
7	高松 次郎	1936-1998	紙の単体 No.362	1972	194.0×112.0	紙（黒色）、布	平成11年度 購入
8	加納 光於	1933-	振りまわす巣房の下でIII	1993	162.0×224.0	油彩、カンバス	平成7年度 購入
キャットタワー climbing							
9	矢野 利隆	1935-	バベルの階段	1986	193.9×130.3	油彩、カンバス	平成2年度 寄贈
10	アルマンド	1929-2018	梯子	1990	250.0×198.0	油彩、カンバス	平成12年度 購入
11	渡辺 豊重	1931-2023	重なっている四角	1982	259.1×182.0	アクリル、カンバス	昭和61年度 寄贈
爪とぎ器 scratching							
12	齋藤 義重	1904-2001	作品（白と赤）	1963	145.5×112.0	油彩、合板（ドリルを使用）	昭和60年度 購入
13	今井 俊満	1928-2002	無題	1977	128.5×191.0	アクリル、カンバス	平成13年度 購入
14	岡崎 ゆみこ	1944-	Moan '97-BLACK	1997	180.0×227.5	油彩、カンバス	平成13年度 寄贈
15	小笠原 則彰	1962-	dissected line from Babel II	1992	180.0×227.0	顔料・アクリル・石膏、板	平成4年度 購入
くさむら hiding							
16	原 裕司	1948-2007	イッソスの戦いNo.1	1992	207.0×146.0	ミクストメディア	平成7年度 購入
17	山崎 隆夫	1940-	叢	1978	213.0×169.8	岩絵具、紙	昭和60年度 寄贈
18	堀 浩哉	1947-	波光-5	1994	291.0×436.4	アクリル・墨・紙、カンバス	平成11年度 購入
ネコがいる / いた / いるかも There is / was / may come a cat.							
19	富川 潤一	1907-1995	本町市場にて	1975	162.0×130.3	油彩、カンバス	平成7年度 管理換
20	峰村 リツ子	1907-1995	詩人の肖像（池田淑人）	1960	130.3×97.0	油彩、カンバス	平成25年度 寄贈
21	小山田 二郎	1914-1991	漂着物	1972	130.3×162.2	油彩、カンバス	昭和60年度 購入
22	森川 ユキエ	1918-2009	いきもの	1967	118.0×183.0	油彩、カンバス	平成12年度 寄贈
23	森川 ユキエ	1918-2009	無人の風景（1）	1971	145.5×112.0	油彩、カンバス	平成12年度 寄贈
24	小山 正太郎	1857-1916	明窓鎖蜂児	-	8.5×5.0	鉛筆、紙	平成7年度 購入
			花開蜂蝶忙	-	4.1×11.0	鉛筆、紙	平成7年度 購入
			テルテルボウズ	-	10.4×4.6	水彩・鉛筆、紙	平成7年度 購入
			雷ヲ待ツ	-	10.9×4.0	水彩・鉛筆、紙	平成7年度 購入
			雨益猛	-	6.8×6.9	水彩・鉛筆、紙	平成7年度 購入
			昨夜暴雨	-	8.5×5.7	水彩・鉛筆、紙	平成7年度 購入
			警備小屋	-	6.4×4.6	水彩・鉛筆、紙	平成7年度 購入
			水微温ミ、鯉ハシバシノ地上見学	-	11.8×16.0	水彩・鉛筆、紙	平成9年度 購入
			ラアイニク	-	8.8×5.0	水彩・鉛筆、紙	平成9年度 購入
			土手決潰ニツキ 茶デモ	-	6.0×10.0	水彩・鉛筆、紙	平成9年度 購入
			閔蟻兵	-	7.8×4.2	鉛筆、紙	平成9年度 購入
			祝日ノ雨	-	5.1×10.4	水彩・鉛筆、紙	平成9年度 購入
			月白子規聲裏村	-	4.6×7.2	水彩・鉛筆、紙	平成9年度 購入
			凍溪	-	7.0×4.6	水彩・インク、紙	平成9年度 購入
			雨音足	-	8.0×6.2	水彩、紙	平成9年度 購入
			日光中宮祠華嚴瀑布降り口ノ図	-	21.8×16.4	水彩・鉛筆、紙	平成9年度 購入
25	安宅 庸雄	1902-1989	赤い室内の女	1982	130.5×97.0	油彩、カンバス	昭和60年度 寄贈
26	安宅 庸雄	1902-1989	浴衣の女	1982	145.4×97.1	油彩、カンバス	昭和60年度 寄贈
27	安宅 庸雄	1902-1989	半コートの女	1985	145.5×112.3	油彩、カンバス	昭和61年度 寄贈
28	寺田 政明	1912-1989	灯の中の相談	1950	91.0×72.7	油彩、カンバス	平成4年度 購入
29	倉石 隆	1916-1998	（静物あるいは瞬間）	1948	130.3×162.1	油彩、カンバス	平成12年度 購入
30	安宅 安五郎	1883-1960	午後	1928	91.0×136.3	油彩、カンバス	昭和63年度 寄贈
31	相笠 昌義	1939-	ラ・ヴィダ・エン・マドリ	1981	97.5×162.2	油彩、カンバス	昭和61年度 購入
32	上野 省策	1911-1999	奇妙な風景	1982	130.3×193.9	油彩、カンバス	平成2年度 寄贈